事業シート（令和6年度決算ベース。令和7年6月作成。）

全体通番	款	項	目	事業コード	会計区分	事業名称	R6予算事業名（5計事業名称と異なる場合に記載）	担当課名	ページ
429	12	1	1	[00000468]	一般会計	市債元金償還金		財政課	3
430	12	1	2	[00000469]	一般会計	市債利子償還金		財政課	5
431	12	1	3	[00000471]	一般会計	公債諸費		財政課	7

予算科目（款項目）　12 － 1 － 1 － [00000468]　一般会計　　**令和6年度決算** 作成時期/令和7年6月

事業シート（概要説明書）

予算事業名	市債元金償還金	事業開始年度	平成16年度
		戦略該当 ×	市民提案関連 ×
上位施策事業名		5計No.	
		5か年計画上の事業期間（令和）	
根拠法令等	地方財政法	この事業の全体計画	
関係個別計画名		担当課名	財政課
事務区分	1自治事務/ 2法定受託事務　1自治事務	係名	財政係
実施の背景	地方債を活用し、発行年度の財源を確保するとともに、財政負担を長期に分割することで、世代間の負担の均衡を図っている。		
目　的（何をどうしたいのか）	市債の借入先に対して、元金の償還を行う。		

事業概要

対　象（誰・何を対象に）	財務省、地方公共団体金融機構、銀行その他	対象者数（全住民に対する割合）　人（ 0.0 % ）
実施方法	1直接実施	1直接実施
	2業務委託（全部・一部）	
	3指定管理（指定管理者）	
	1補助金　直接補助の場合（補助先）	間接補助の場合（実施主体）
	2貸付（貸付先）	
第4次5か年計画の内容		

事業内容（手段、手法など）	R7年度　（予算）	R6年度（実績見込）	R5年度　（実績）	R4年度　（実績）	R3年度　（実績）
	公債残高及び支払期限を正確に把握し元金を償還する。	公債残高及び支払期限を正確に把握し元金を償還する。	公債残高及び支払期限を正確に把握し元金を償還した。	公債残高及び支払期限を正確に把握し元金を償還した。	公債残高及び支払期限を正確に把握し元金を償還した。

関連事業（同一目的事業等）	

コスト

	R7年度　（予算）	R6年度（決算見込）	R5年度　（決算）	R4年度　（決算）	R3年度　（決算）
事業費合計	2,518,274 千円	1,841,019 千円	1,791,075 千円	1,922,122 千円	1,993,859 千円
内訳	・市債元金償還金 2,518,274,000円	・市債元金償還金 1,841,018,800円	・市債元金償還金 1,791,074,958円	・市債元金償還金 1,922,121,654円	・市債元金償還金 1,993,859,102円（長期債元金 1,992,839,102円 繰上償還金 1,020,000円）
人件費　担当正職員	0.1 人　598 千円	0.1 人　598 千円	0.1 人　578 千円	0.1 人　578 千円	0.1 人　555 千円
人件費　再任用職員	人　0 千円	人　0 千円	人　0 千円	人　千円	人　千円
人件費　会計年度任用職員等	人　報酬は事業費欄に記載	人　報酬は事業費欄に記載	人　報酬は事業費欄に記載	人　報酬は事業費欄に記載	人　報酬は事業費欄に記載
人件費　合計	0.1 人	0.1 人	0.1 人	0.1 人	0.1 人
総事業費	2,518,872 千円	1,841,617 千円	1,791,653 千円	1,922,700 千円	1,994,414 千円

財源内訳

	R7年度　（予算）	R6年度（決算見込）	R5年度　（決算）	R4年度　（決算）	R3年度　（決算）
国県支出金	1,193 千円	2,386 千円	5,163 千円	6,734 千円	8,123 千円
	南房総広域水道用水供給事業市町村補助金	南房総広域水道用水供給事業市町村補助金	南房総広域水道用水供給事業市町村補助金	南房総広域水道用水供給事業市町村補助金	南房総広域水道用水供給事業市町村補助金
地方債	749,150 千円	128,780 千円	33,870 千円	20,942 千円	115,580 千円
その他特財	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	1,768,529 千円	1,710,451 千円	1,752,620 千円	1,895,024 千円	1,870,711 千円
財源合計	2,518,872 千円	1,841,617 千円	1,791,653 千円	1,922,700 千円	1,994,414 千円

予算科目（款項目）　12 － 1 － 1 － [00000468]　一般会計　　**令和6年度決算** 作成時期/令和7年6月

事業シート（概要説明書）

予算事業名	市債元金償還金	事業開始年度	平成16年度
		戦略該当 ×	市民提案関連 ×

事業実績

活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）	現況値	単位	R7年度（予算）	R6年度（見込）	R5年度	R4年度	R3年度
				／	／	／	／	／
		現況値の時点			設定根拠			
				／	／	／	／	／
		現況値の時点			設定根拠			
				／	／	／	／	／
		現況値の時点			設定根拠			
				／	／	／	／	／
		現況値の時点			設定根拠			
単位当たりコスト	総事業費 ／		千円	／				

事業成果

成果（目標達成状況）	【成果指標名】（実績値/目標値）	現況値	単位	R7年度（予算）	R6年度（見込）	R5年度	R4年度	R3年度
				／	／	／	／	／
		現況値の時点			設定根拠			
				／	／	／	／	／
		現況値の時点			設定根拠			
				／	／	／	／	／
		現況値の時点			設定根拠			

事業の自己評価

自己評価（担当課による評価）	1不要・凍結　2国・県・広域が実施 3要改善　　4現行どおり・拡充	4現行どおり・拡充
今後の事業の方向性、課題等	償還計画に基づき、元金を償還する。	

比較参考値（他自治体での類似事業の例など）	
特記事項	

予算科目（款項目）　12 － 1 － 2 － [00000469]　一般会計　　**令和6年度決算** 作成時期/令和7年6月

事業シート（概要説明書）

予算事業名	市債利子償還金	事業開始年度	平成16年度
		戦略該当 ×	市民提案関連 ×
上位施策事業名		5計No.	
		5か年計画上の事業期間（令和）	
根拠法令等	地方財政法	この事業の全体計画	
関係個別計画名		担当課名	財政課
事務区分	1自治事務/ 2法定受託事務　1自治事務	係名	財政係
実施の背景	地方債を活用し、発行年度の財源を確保するとともに、財政負担を長期に分割することで、世代間の負担の均衡を図っている。		
目　的（何をどうしたいのか）	市債の借入先に対して、元金に係る利子の償還を行う。		

事業概要

対　象（誰・何を対象に）	財務省、地方公共団体金融機構、銀行その他	対象者数（全住民に対する割合）　人（ 0.0 % ）
実施方法	1直接実施	1直接実施
	2業務委託（全部・一部）	
	3指定管理（指定管理者）	
	1補助金　直接補助の場合（補助先）	間接補助の場合（実施主体）
	2貸付（貸付先）	
第4次5か年計画の内容		

事業内容（手段、手法など）	R7年度　（予算）	R6年度（実績見込）	R5年度　（実績）	R4年度　（実績）	R3年度　（実績）
	公債残高及び支払期限を正確に把握し利子を償還する。	公債残高及び支払期限を正確に把握し利子を償還する。	公債残高及び支払期限を正確に把握し利子を償還した。	公債残高及び支払期限を正確に把握し利子を償還した。	公債残高及び支払期限を正確に把握し利子を償還した。

関連事業（同一目的事業等）	

コスト

		R7年度　（予算）	R6年度（決算見込）	R5年度　（決算）	R4年度　（決算）	R3年度　（決算）
事業費	事業費合計	77,390 千円	65,908 千円	68,156 千円	75,845 千円	87,341 千円
	内訳	・市債利子償還金 77,390,000円	・市債利子償還金 65,908,324円	・市債利子償還金 68,155,999円	・市債利子償還金 75,845,360円	・市債利子償還金 87,340,691円
人件費	担当正職員	0.1 人　598 千円	0.1 人　598 千円	0.1 人　578 千円	0.1 人　578 千円	0.1 人　555 千円
	再任用職員	人　0 千円	人　0 千円	人　0 千円	人　千円	人　千円
	会計年度任用職員等	人　報酬は事業費欄に記載	人　報酬は事業費欄に記載	人　報酬は事業費欄に記載	人　報酬は事業費欄に記載	人　報酬は事業費欄に記載
	合計	0.1 人	0.1 人	0.1 人	0.1 人	0.1 人
総事業費		77,988 千円	66,506 千円	68,734 千円	76,423 千円	87,896 千円

財源内訳

	R7年度　（予算）	R6年度（決算見込）	R5年度　（決算）	R4年度　（決算）	R3年度　（決算）
国県支出金	38 千円	113 千円	273 千円	512 千円	810 千円
	南房総広域水道用水供給事業市町村補助金	南房総広域水道用水供給事業市町村補助金	南房総広域水道用水供給事業市町村補助金	南房総広域水道用水供給事業市町村補助金	南房総広域水道用水供給事業市町村補助金
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他特財	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	77,950 千円	66,393 千円	68,461 千円	75,911 千円	87,086 千円
財源合計	77,988 千円	66,506 千円	68,734 千円	76,423 千円	87,896 千円

予算科目（款項目）　12 － 1 － 2 － [00000469]　一般会計　　**令和6年度決算** 作成時期/令和7年6月

事業シート（概要説明書）

予算事業名	市債利子償還金	事業開始年度	平成16年度
		戦略該当 ×	市民提案関連 ×

事業実績

活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）	現況値	単位	R7年度（予算）	R6年度（見込）	R5年度	R4年度	R3年度
				／	／	／	／	／
		現況値の時点			設定根拠			
				／	／	／	／	／
		現況値の時点			設定根拠			
				／	／	／	／	／
		現況値の時点			設定根拠			
				／	／	／	／	／
		現況値の時点			設定根拠			
単位当たりコスト	総事業費 ／		千円					

事業成果

成果（目標達成状況）	【成果指標名】（実績値/目標値）	現況値	単位	R7年度（予算）	R6年度（見込）	R5年度	R4年度	R3年度
				／	／	／	／	／
		現況値の時点			設定根拠			
				／	／	／	／	／
		現況値の時点			設定根拠			
				／	／	／	／	／
		現況値の時点			設定根拠			

事業の自己評価

自己評価（担当課による評価）	1不要・凍結　2国・県・広域が実施 3要改善　　4現行どおり・拡充	4現行どおり・拡充
今後の事業の方向性、課題等	償還計画に基づき、元金に係る利子を償還する。	

比較参考値（他自治体での類似事業の例など）	
特記事項	

予算科目(款項目)　12 － 1 － 3 － [00000471]　一般会計　　**令和6年度決算** 作成時期/令和7年6月

事業シート(概要説明書)

予算事業名	公債諸費	事業開始年度	平成16年度
		戦略該当 ×	市民提案関連 ×
上位施策事業名		5計No.	
		5か年計画上の事業期間(令和)	
根拠法令等		この事業の全体計画	
関係個別計画名		担当課名	財政課
事務区分	1自治事務/ 2法定受託事務　1自治事務	係名	財政係
実施の背景	地方債の償還計画、交付税算入、予算、決算など、地方債に関連する事務を執行する。		
目　的(何をどうしたいのか)	地方債に関する適正な事務執行を行う。		

事業概要

対　象(誰・何を対象に)	地方債の管理	対象者数(全住民に対する割合)　30,290 人 (100.0 %)
実施方法	1直接実施	
	2業務委託(全部・一部)	株式会社ディー・エス・ケイ
	3指定管理(指定管理者)	
	1補助金　直接補助の場合(補助先)	間接補助の場合(実施主体)
	2貸付(貸付先)	
第4次5か年計画の内容		

事業内容(手段、手法など)	R7年度　(予算)	R6年度 (実績見込)	R5年度　(実績)	R4年度　(実績)	R3年度　(実績)
	起債管理システムを運用するため、システムのメンテナンスやトラブルが生じた際のサポート対応等について業務委託をしている。	起債管理システムを運用するため、システムのメンテナンスやトラブルが生じた際のサポート対応等について業務委託をしている。	起債管理システムを運用するため、システムのメンテナンスやトラブルが生じた際のサポート対応等について業務委託をしている。	起債管理システムを運用するため、システムのメンテナンスやトラブルが生じた際のサポート対応等について業務委託をしている。	起債管理システムを運用するため、システムのメンテナンスやトラブルが生じた際のサポート対応等について業務委託をしている。

関連事業(同一目的事業等)

コスト

		R7年度　(予算)	R6年度 (決算見込)	R5年度　(決算)	R4年度　(決算)	R3年度　(決算)
事業費	事業費合計	27 千円	26 千円	26 千円	26 千円	26 千円
	内訳	・起債管理システム保守委託料　27,000円	・起債管理システム保守委託料　26,400円	・起債管理システム保守委託料　26,400円	・起債管理システム保守委託料　26,400円	・起債管理システム保守委託料　26,400円
人件費	担当正職員	0.1 人　598 千円	0.1 人　598 千円	0.1 人　578 千円	0.1 人　578 千円	0.2 人　1,111 千円
	再任用職員	人　0 千円	人　0 千円	人　0 千円	人　千円	人　千円
	会計年度任用職員等	人　報酬は事業費欄に記載	人　報酬は事業費欄に記載	人　報酬は事業費欄に記載	人　報酬は事業費欄に記載	人　報酬は事業費欄に記載
	合計	0.1 人	0.1 人	0.1 人	0.1 人	0.2 人
総事業費		625 千円	624 千円	604 千円	604 千円	1,137 千円

財源内訳

	R7年度	R6年度	R5年度	R4年度	R3年度
国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他特財	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	625 千円	624 千円	604 千円	604 千円	1,137 千円
財源合計	625 千円	624 千円	604 千円	604 千円	1,137 千円

予算科目（款項目）　12 － 1 － 3 － [00000471]　一般会計　　**令和6年度決算** 作成時期/令和7年6月

事業シート（概要説明書）

予算事業名	公債諸費	事業開始年度	平成16年度
		戦略該当 ×	市民提案関連 ×

事業実績

活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）	現況値	単位	R7年度（予算）	R6年度（見込）	R5年度	R4年度	R3年度
	起債システム保守（様式改正に係るプログラム修正等）	1	件	/ 1	1 / 1	1 / 1	1 / 1	1 / 1
		現況値の時点	令和2年度		設定根拠	業務内容		
				/	/	/	/	/
		現況値の時点			設定根拠			
				/	/	/	/	/
		現況値の時点			設定根拠			
				/	/	/	/	/
		現況値の時点			設定根拠			
単位当たりコスト	総事業費 ／		千円					

事業成果

成果（目標達成状況）	【成果指標名】（実績値/目標値）	現況値	単位	R7年度（予算）	R6年度（見込）	R5年度	R4年度	R3年度
				/	/	/	/	/
		現況値の時点			設定根拠			
				/	/	/	/	/
		現況値の時点			設定根拠			
				/	/	/	/	/
		現況値の時点			設定根拠			

事業の自己評価

自己評価（担当課による評価）	1不要・凍結　2国・県・広域が実施 3要改善　　4現行どおり・拡充	4現行どおり・拡充
今後の事業の方向性、課題等	システム等を有効に活用し、今後も地方債に関する適正な事務執行を行う。 当面の間は現行システムを継続使用することとするが、システムが多様化する中で、今後、事務効率や運用コストを検証しながら、更新を見据えて情報収集に努める。	

比較参考値（他自治体での類似事業の例など）	
特記事項	